



# 若者の発想で 登別を魅力的なまちに

春一の熱血・青春トーク2011

6/17

6月17日(金)、日本工学院北海道専門学校で「春一の熱血・青春トーク2011」(市主催)が行われ、同校の学生など約150人が、市長と活発に意見交換を行いました。

市長が自ら若者の意見を聞き、斬新な発想を市政に取り入れるために始めた意見交換会は、昨年10月に続き2回目。今回は、『若者にとって魅力あるまちとは』というテーマについて学生たちが考えた企画を市長にプレゼンテーションする方法で行われ、14組の学生が登別市で暮らしながら感じていることから発想を膨らませ、『登別温泉街全力鬼ごっこ』などの企画を市長の前で発表しました。

市長は、学生たちの発表に真剣に耳を傾け、質問を投げ掛けていました。

学生たちによって発表された企画は、さらに内容を具体化し、秋に開催する第2回で発表される予定です。



▲ヒアリングの様子

# 地域の課題を 市政に反映

6/1~3

町内会地区課題(要望)のヒアリングを実施  
市は、地域が抱える課題や要望を市政に反映させるため、毎年4月に、町内会などから課題や要望を提出していただいています。

今年は、43町内会から道路の補修や排水対策、交通安全対策など、143件の課題や要望が寄せられ、6月1日(水)~3日(金)には、市の担当者によるヒアリングを実施しました。

ヒアリングでは、市の担当者が町内会から課題や要望の詳細を聞き、市の現状説明や改善方法の提案をするなど、住みよいまちづくりのため互いに意見を交わしました。

提出された課題や要望には、7月に市の考え方や結果を回答する予定です。